

平成29年度津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生事業）の実施結果について

地方創生推進交付金実績

- ・「コンパクトシティの推進：津別町の特徴を生かした地産地消による域内経済循環と地場産品の外消で稼ぐ持続可能なエコタウンの確立」事業

事業名	内容
<p>まちなか再生とまちの賑わい創出事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 <p>平成27年度からのまちなか再生に係る継続事業。まちづくり会社発足に向けた人材育成と募集、特産品の企画等</p> ・事業実績 <ul style="list-style-type: none"> (1) 筑波大学とのまちなか再生支援事業 <p>筑波大学夏ゼミ合宿、津別高校との高大連携ワークショップ、空き家等の情報利活用システム構築等の協力支援</p> (2) まちづくり会社設立に向けた取り組み <p>新たな特産品企画・開発とまちづくり会社事業案作成等のため特産品事業者ヒアリング実施。（町内33事業者）</p> <p>道外まちづくり会社視察（岡山県西粟倉村、徳島県神山町、徳島県上勝町）。</p> <p>統括マネージャー募集・選考</p> <ul style="list-style-type: none"> －1月29日～3月2日まで募集受付 （応募総数49件、うち道内35件、町内在住者0件） －第一次選考（書類選考）結果：10名選考 －第二次選考結果：3月23日（金）～25日（日）説明会、視察、懇談会、面接、6名選考 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※地方創生推進交付金（平成30年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> －第三次選考結果：4月21日（土）～23日（月） 6名の候補者に来町してもらい、視察、懇談会、公開審査会（参加者71名）、面接を実施し、審査の結果、1名を選考 ○統括マネージャー内定者 <p>松林尚史（まつばやし なおふみ） 男性、36歳、妻・子ども1人、千葉県出身、東京都在住、慶応義塾大学卒、外資系コンサルティング会社勤務</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> (3) まちづくり担い手人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・北大公共政策大学院の学生によるまちづくり活動「観光」「教育」の2つのテーマで調査・研究を行い、発表会実施。 ・移住・起業・空き家等利活用促進事業（道東エリアリノベーション・プロジェクト）

	<p>空き家利活用とそこで生み出す新規事業によるエリア全体に新たな価値を作り出していくプロジェクト。空き家改修後の「ゲストハウス」と「コワーキングスペース」という地域の拠点となる新規事業創出の検討と担い手人材の育成を兼ねたワークショップを6回、主体となって新規事業を立ち上げるパイロット事業運営者選定コンペ実施。</p> <p>9月21日 オープンミーティング（昼の部、夜の部）</p> <p>10月16日 ゲストハウス・コワーキングスペース構想ワークショップ（昼の部） 津別新ビジネス創造ワークショップ（夜の部）</p> <p>12月19日 ゲストハウス・コワーキングスペース構想ワークショップ（昼の部） 津別新ビジネス創造ワークショップ（夜の部）</p> <p>2月21日 パイロット事業運営者選定コンペ（参加者22名）、ゲストハウス・コワーキングスペース両部門1名選出。</p> <p>(4) 空き家や空き店舗の掘り起こしと利活用推進 空き家等の町内全域調査実施、調査結果として、369件の空き家・空き店舗があることが判明、建物所有者への意向調査も実施。 空家等対策計画策定等のため空家等対策協議会の設置し、計画策定に向けた空き家等の管理・利活用、空き家等情報登録制度（空き家バンク）の活用などの協議（全5回）を行ない、3月末「空家等対策計画」策定済み。</p> <p>(5) まちづくり会社設立基本構想策定 ヴァーチャルリアリティデータ更新、第1回住民懇談会等で活用。</p>
<p>障がい者・生活困窮者の働く場の創出事業</p>	<p>・事業概要 生活困窮者（ひきこもり者等）を対象にした「居場所づくり」や就労に向けての「中間的就労の場づくり」を行い、障がい者や引きこもり者を含めた生活困窮者が安心して暮らせる環境整備を図る。</p> <p>・事業実績</p> <p>(1) 「居場所づくり」について 社会福祉協議会に隣接している空き家物件を、最低限の内部改修を行い、12月18日から居場所開設。 ひきこもり者等の自宅訪問を社協職員、役場保健師、千葉県船橋市で同様の事業を展開するNPO法人生き方応援団LaLa代表山田賢明氏と実施。 山田氏による自己の経験や社会復帰された方の事例を伝える講演ライブを5月から毎月実施し、累計280名が来場された。</p> <p>(2) 「居場所」の支援員確保と育成について 支援員1名。利用者3名。 居場所の状況に合わせた研修受講やNPO法人生き方応援団</p>

	<p>LaLa 代表 山田氏による指導支援などを実施。</p> <p>(3) 「就労の場づくり」について 社会福祉協議会では、休耕地を借り受け、農園(社協アグリ)作り、農業就労体験を実施。 (株)びーとでは、新たな働く場開設に向けた検討を実施。あわせて、就労支援としての仕事や地域の困りごとなどの情報収集のため、さんさん館カフェにて1月より地域情報揭示、募集を実施。</p>
<p>再生可能エネルギーの利活用推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 事業概要 林地残材等を活用した再生可能エネルギーの導入推進 • 事業実績 <ul style="list-style-type: none"> (1) 航空レーザー航測による森林資源量調査と、林地残材の収集効率化システムの構築 (2) 熱供給システムプラン作成 <ul style="list-style-type: none"> －再エネ勉強会開催 (全2回) (3) マネジメントセンター設立準備 <ul style="list-style-type: none"> －ワーキンググループ会議 (10月17日) －設立準備における道外先進地現地調査 (岐阜県高山市、福井県あわら市) 実施。 －設立準備における道内先進地現地調査 (札幌市) 実施。